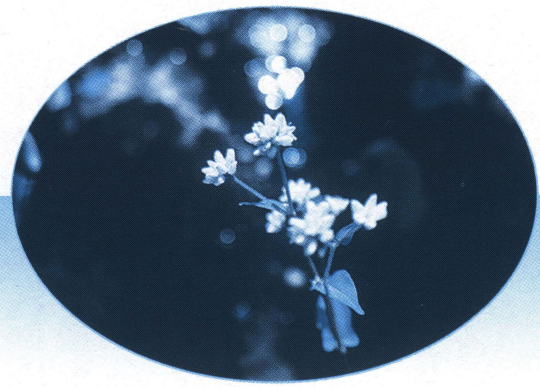
平成11年６月８日第三種郵便物認可（年４回２・５・８・11月の５日発行）そうせい　第116号　平成14年２月５日発行

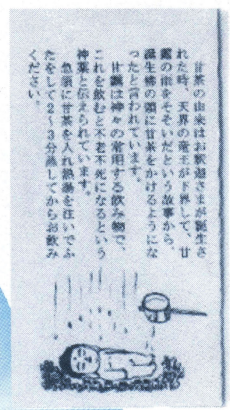
第14期全曹青執行部スローガン
“新世紀プロローグ、
とどろけ全曹青のハーモニー”

そうせい

116
全国曹洞宗青年会
2002.2

花まつりキャンペーン





新デザイン封筒！

花まつりの普及に、今期も事業を継続して運動を展開いたします。つきましては、花の種等を次の内容で実費配布いたしますので、ご希望の寺院様はお申し込みご利用願います。

●内容

新しいデザインの紙封筒と、花の種、甘茶ティーパック、三仏忌の説明文、道元禅師様のお言葉カードを詰めた状態で送付します。

●申し込み数量と費用

一口　一〇〇部単位（何口でも構いません）
一部　七五円

●申し込み方法

葉書又はＦＡＸにて、県名、寺籍番号、氏名、住所、電話番号、希望個数口等を記載してお申し込み願います。

●申し込み先

〒769-0210
香川県綾歌郡宇多津町1437
南隆寺内　大石　光昭まで
ＦＡＸ　0877-49-3092

●申し込み期限

平成十四年二月末日
配布予定　平成十四年三月中旬ごろ

●配布方法

着払いにてお届けします。

咲かせた花のお写真、それにまつわるエピソード等編集部までお寄せ下さい。そうせいサロンでご紹介させて頂きます。宛先は二十七ページ「そうせいサロン」をご参照下さい。

そうせい

02.FEB SOSEI

WHAT'S NEW

4

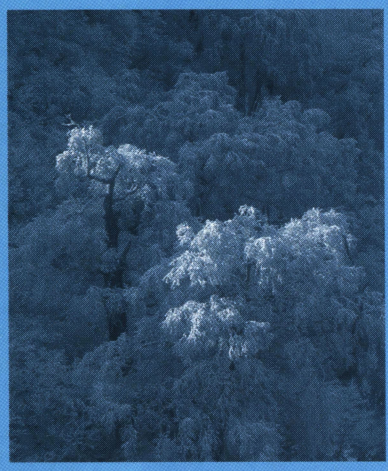
禅文化学林東北大会

平成13年11月19日福島県郡山市「ホテルハマツ」において、「天真に生きる」をテーマに全国曹洞宗青年会主催東北地区曹洞宗青年会連絡協議会主管により禅文化学林東北大会が会員、一般含めて800余人が参加して盛会裡に円成した。当日は大本山總持寺貫首板橋興宗禅師にご来臨を賜りご講演を戴いた。

CONTENTS

7	お寺散策　大谿山豪徳寺	
8	環境問題のスピリチュアルな視座③	正木　高志
10	ディスカバーヒューマンライツ②	見野　彰信
12	現代と宗教	牟田口義郎
14	SOSEI インターナショナル	藤田　一照
16	インターネットの世界をのぞいてみよう！　その18	
17	パソコン格闘記	
18	全曹青情報局	
22	そうせいINFORMATION	
25	エコクッキング	小池　澄子
26	賛助会員御芳名	
27	そうせいサロン	
27	遠山無限	池上　幸秀
28	青年会モザイク	

表紙が語る



冬は死にたとえられることがある。
冬の森に行って、雪の上に仰向けになる。
昨日降ったばかりの雪にすべての音が吸い込まれる。
なるほどこの静寂さは死に似ているのかもしれない。が、どこか懐かしくもある。
夏の海の底の静寂さ、母の胎内の静寂さもこのようだったのかもしれない。
真冬の森で思い出されるのは真夏の海であり、生のイメージ。
静寂さが心との距離を近づける。
冬、雪が冴える。

撮影／小原　幸子

平成13年度禅文化学林東北大会開催される

テーマ

天真に生きる

～いま、良寛さまに学ぶ安らぎの心～

去る、平成13年11月19日福島県郡山市「ホテルハマツ」において、主催全国曹洞宗青年会、主管東北地区曹洞宗青年会連絡協議会により、禅文化学林東北大会が会員と一般含め800余人が参集し、江戸時代、あえて寺も持たずに乞食僧となり、現代においてなお一層の輝きを放つ良寛禅師の生き様に触れ、今後私達青年僧の目指すべき方向性の探求をすべく今大会が催されました。

基調講演として、大本山總持寺貫首板橋興宗禅師が「大愚良寛」という演題で、続いて全国良寛会会長小島寅雄氏が「良寛和尚と70年」という演題でお話されました。

その後、小島寅雄氏を囲んで全曹青会長及び東北六県の各曹青会の代表者をパネリストにパネルディスカッションが行われました。最後の清興では「心のハーモニー・詠讃歌と尺八の出会い」と題して秋田県自性院住職鈴木道雄師、秋田県東泉寺住職　柴田弘一師、千葉県慈恩院住職石井寛道師、を中心とした宗侶と箏曲家による演奏があり大会が盛会裡に大円成しました。

なお、基調講演をいただいた板橋禅師は、最後まで会場に留まり耳を傾けていただき、閉会の挨拶につづき、マイクに向かい、「清興に感動し、この青年会の大会は大変良かった」とお褒めのお言葉を下さいました。

開催にあたり

全国曹洞宗青年会会長
池上幸秀

平成13年度禅文化学林東北大会が、この福島県郡山市で開催されるにあたり、曹青会員はもとより、宗侶各位、一般檀信徒の皆様方には多数のご参加をいただき厚く御礼申し上げます。「禅文化学林」は、「学林（サンガ）」として僧俗共に集い、「禅・文化」の知識を体系的に整理し、一般的在家の生活中に生かされるよう用意された学習の場です。実際には、私たち青年僧が地域社会の中で、在家的な生活を送りながらも、僧侶として、大衆の信頼を獲得し、仏教的体系の中で善き導き手となれるかという厳しい現実を一般在家の皆様と共通のテーマのもとに模索していこうという試みでもあります。

テーマは『天真に生きる』～いま、良寛さまに学ぶ安らぎの心～」です。昨年は、良寛170年祭が盛大に催されたことも誘因となって、良寛さまの生き様に学ぼうという人々がどんどん増加しているようです。今、現代社会に顕在化している出口の見えない暗澹たる難問題について、仏教者、青年僧の立場で、どう向かい合っていけるのか、皆様と共に良寛さまの安らぎの心に学んで参りたいと思います。良寛さまの中に忘れかけていた自分自身を再発見し、明日からの生き方に変化が訪れることをお祈り申し上げます。

最後になりましたが、今大会に当たりご尽力いただきました関係各位のご苦労に心から感謝申し上げ、東北曹青発の「慕古心」報恩行として円成し、全国にハーモニーとしてとどろくことを祈念いたします。

合掌

歓迎のことば

禅文化学林東北大会実行委員長
曹洞宗福島県青年会会長
室井義春

今大会開催に対しましては、関係各位の温かいお力添えを賜り、本日はこうして大勢の方々のご参加を頂き、実行委員一同これに勝る感激はありません。心より御礼申し上げます。

さて、私達禅宗僧侶にとりまして一番大切な事は、自己の計らいを捨ててゆく事だと言われております。何ものにも執着せず総てを捨て去った時、本来の自己が体得され天真の姿が現れてくるのであります。良寛様が示された「任運」の心こそが正に頭で計らう事をやめ、ありのままの世界に安住した世界でもあります。「《天真に生きる》～いま、良寛さまに学ぶ安らぎの心～」と題して開催しましたこの大会で、皆様にもこの良寛様の生き様に触れていただき、より有意義な大会となります事を心より念じ上げます。

最後になりましたが、関係各位、そして参加者皆々様の更なるご発展とご多幸をご祈念申し上げ歓迎の言葉と致します。

当日挨拶より

板橋興宗禅師による 演題「大愚良寛」の 基調講演

～私達の幸せの基本がそこにある～

「昔、良寛さんに憧れて坊さんになった」と語る板橋禅師は流暢な語り口で良寛さんを話された。越後の出雲崎町の名主の家に生まれ、若い頃昼行灯と呼ばれるほど人間の生き方に疑問を持って悩んでいた良寛さんが、玉島の国仙和尚との出逢いから人格が一変し、本来の人間に目覚めたという逸話に本当の幸せとは何か。また良寛さんが道元禅師をお慕いし、お金や名誉を超えた境涯に立ち、素直な心で村人や子供達と接し、知らず知らずに人々を幸福にしてしまう魅力に、僧侶としての私達の生きた方の基本を学ぶ、と熱く語られた。

小島寅雄氏による 演題「良寛和尚と70年」の 基調講演

～すがすがしさを万人に与えてくれた～

全国良寛会会長を務められる小島寅雄氏は、鎌倉市図書館長、鎌倉市長を歴任され、ておられる方で、十七、八の頃から良寛さんを慕い出家を志したこともあったといいます。それから七十年、良寛さんを心の支えとして生きて来たと話された。

良寛さんの世界は、言わないで言う、教えないで教える、そういう世界の人であったように思うと語られる。子供と遊ぶときの良寛さんは、子供の中に素直な人間を見ていたのではないだろうか。一人住まいを通した良寛さんは、お釈迦様の修行の姿を慕ったのではないだろうかと語り、良寛さんのすがすがしさは万人に安らぎを与えてくれる。良寛さんは新潟だけに居るのではない、いつも皆様の周りに居るのですと余韻とともに静かに語りかけられた。

パネルディスカッション 「天真に生きる」

～いま良寛さまに学ぶ安らぎの心～

パネリスト

全国良寛会会長	小島　寅雄
全国曹洞宗青年会	池上　幸秀
青森県曹洞宗青年会	村松　大英
秋田県曹洞宗青年会	袴田　俊英
岩手県曹洞宗青年会	大萱生良寛
宮城県曹洞宗青年会	伊串　泰純
山形県曹洞宗青年会	奈良埼孝史
福島県曹洞宗青年会	室井　義春

コーディネーター

東北地区曹青会連絡協議会　斎藤　崇淳

それぞれの青年会の会長を中心に「良寛さん」を語りあった。これまで慕って教えに触れてきたという意見や、意識したことがないので今回初めて学んでみたという意見など披露された。会場は二十一世紀を担う「顔の見える青年僧」の生の言葉に関心が集まり、改めて大衆に語りかける積極的な関わりの重要性を感じ、重ねて未来の見

えない現代に、人びとの心を癒す存在であった良寛さんの生き方に共鳴する意見が多く述べられた。

清興「心のハーモニー・詠讃歌と尺八の出会い」

秋田県自性院住職 鈴木道雄師、千葉県慈恩院住職 石井寛道師、秋田県東泉寺住職 柴田弘一師、を中心とした宗侶と箏曲家の演奏がなされた。

曲の「三宝三華」・「達磨大師影讃曲」は石井透山氏が作曲された曲で「三宝三華」等は琴と尺八が壮大なハーモニーとなり仏教音楽として、言葉とは違う音の響きの余韻により八百人の観衆を魅了した。

社会福祉の先駆者

―正法眼蔵を社会に実践した福島が生んだ偉大な女性―

瓜生岩子女史の里を訪ねて

数々の社会福祉事業の先駆者であった彼女の遺言は、「正法眼蔵無上大法の大恩に報謝したい」でした。宗門の教えと出会い、後々社会的に大きな足跡を残した瓜生岩子の生涯を禅文化学林東北大会にちなみご紹介します。

◆仏教との出会い

一八二九年（文政二年）会津藩（福島県）喜多方地方に生まれた岩子は、熱塩温泉宿「山形屋」で少女時代を過ごし十四才の時、叔父の産科医師 山内春瀧のもとへ見習いに行く。その後幸福な暮らしをしていたが、二十八才の時、夫と死別。四人の子供を抱え途方に暮れた岩子は少女時代に教えを受けた熱塩温泉の示現寺隆覚和尚（曹洞宗）のもとに駆け込み身の振り方を相談する。このことが岩子に終生に亘る大きな影響を与えた。

隆覚和尚の許を去るとき、示現寺の山門で空を仰ぎ、岩子は「雲割れて　光こぼれる　雪の里」と詠んでいる。

◆救済活動を始める

岩子女史が四十才の時、会津戦争が始まる。岩子は、若松城の地獄絵の様相を見て、土地の有力者を説いて廻り、金品寄付を得て現地に向かい、被災民を助け、傷病兵の手当をした。

巡回してきた官軍の隊長が岩子にこう詰問した。

「何をしているのか。」

「怪我人を拾っております。」

「お前は誰だ。」

「瓜生岩子です。医療の心得がありますので病人や怪我人の手当をしています。」

「誰の許可を得たのか。」

「怪我人を手当するのに誰の許しもいらぬと思います。」

「会津藩の者か。」

「わが家は郷土ですが、それは関係ありません。」

「我等にも負傷兵が大勢いる見てくれるか。」

「よろしゅうございます。」

と岩子は憶せず答えたというエピソードがある。

◆「仏の岩子」

岩子四十七、八才の頃、喜多方近郊に養育所を開き子供達を養育する傍ら、堕胎防止運動をすすめた。この頃から「仏の岩子」と呼ばれて、争い事があっても岩子が出かけると、不思議に収まったという岩子の人情話がたくさん伝わっている。

示現寺 山門

六十才に近くなった頃、岩子の福祉活動が福島県全体に広がり、県知事などの支援を得て、福島市舟場町に私立救育所を設立した。

六十四才の頃、日本最初の社会福祉施設である東京養育院院長の渋沢栄一から、施設の運営を岩子に見てほしいと依頼があり、就任からわずか六ヶ月の間に施設を再生してしまったという。その後、福島に帰って東北地方最初の福祉事業「福島育児院」、お金がなくても治療が出来る「私立済生病院」をそれぞれ設立させた。

◆「正法眼蔵無上大法の大恩」

岩子は明治三十年四月十九日、六十九才で永眠する。遺言は、「正法眼蔵無上大法の大恩に報謝したい」であった。死後、慈善事業の功績者として教科書にも紹介され、全国に「瓜生会」という瓜生岩子を顕彰し、慈善事業を推進する会が組織された。そして、急速に社会福祉事業が全国に広まっていった。仏教の精神で慈善事業を行っていた岩子は親のない子も仏の子として育てたという。衆生済度の誓願を貫き通した彼女の生涯はまさに道元禅師の示した菩薩行の実践に他ならない。

示現寺境内、東京浅草寺、そして喜多方市など多くの場所に彼女を顕彰する碑や銅像が建てられている。瓜生岩子が少女時代を過ごした温泉宿「山形屋」は、菩提寺の示現寺から二、三分の近所にある。

示現寺にある銅像

お寺散策

大貙山 豪徳寺

まねき猫 発祥の寺。井伊直弼公の菩提所

豪徳寺の前身は弘徳庵といわれ、約五〇〇年前の文明十二年（一四八〇年）臨済宗馬堂昌誉和尚の開山と伝えられる。曹洞宗の住職となったのは（一五九〇年）頃からで、世に言う「招き猫」の伝説が生まれたのは徳川家康の時代、曹洞宗に代が代わって四代目の天極秀道和尚の時。

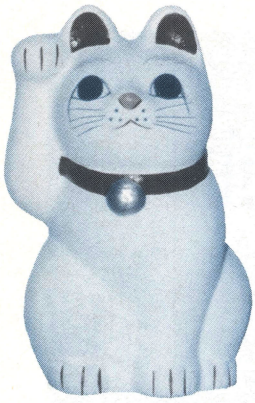
猫に招かれた殿様 井伊直孝公

豪徳寺がまだ弘徳庵であった時代、四代目の天極秀道和尚は猫を我が子のように愛育していた。

ある日、和尚は猫に「汝、我が愛育の恩を知らば何か果報を招来せよ。」といい聞かせていた。

ある夏の日、鷹狩りの帰りと見受ける武士五、六騎が「寺の前を通ったら猫が手をあげてしきりに手招きをするので訪ねてきた。」と寺の和尚に語る。住職が渋茶を接待している最中突然雷が鳴り夕立となり武士達は足止めされた。

その間、和尚は武士に三世因果の説法を語り始めると、武士は深く感じる事があり、和尚の話に聞き入った。説法が終わり、夕立がやんだ頃には聞いていた武士が大いに帰依の心を起こし「我こそは、江州彦根の城主、井伊直孝なり。猫に招き入られ貴僧の法談に預かる。これ偏へに仏の因果ならん。」と語り、以来、天極秀道和尚に帰依し、井伊家の江戸の菩提所となったと伝える。


元祖まねき猫

招福庵入口

豪徳寺と招福猫児の「招福観音堂」

豪徳寺の「豪徳」は寺の猫に招かれた殿様、井伊直孝公の戒名（久昌院殿豪徳天英大居士）から名付けられたもの。

殿様を招いて寺に福を呼んだ猫（タマ）の死後、和尚が知恩報恩のタマの墓（猫塚）を建てたという。

後に、井伊家から田畑多く寄進せられ、豪徳寺が吉縁を開く事となった、福を招く奇特な霊験の猫を祀る「招福観音堂」が建てられた。このようにして民衆から猫寺と呼ばれる由縁となったという。

江戸の後期頃から、この猫の姿形を作り招福猫児と称えて崇め祀れば吉運たちまち至るとの霊験が世に広まり、今では全国の商いをするお店にはこの猫が鎮座して玄関で良縁を招いているという。

招福観音堂内部

現在の豪徳寺

世田谷の市街地の中に、こんもりと大きな森を思わせる寺域。山門を入り老樹が立ち並ぶ参道を歩くと仏殿が聳える。この仏殿は井伊直孝公の娘、亀姫が独力で建立されたもの。更に進むと、正面に本堂、その奥に開山堂、左に招福観音堂、右に総受け所の伽藍が並ぶ。

招福観音堂の横には観音さまを彫った「猫塚」が有り、全国から願いがかなって奉納された招き猫が奉納されている。

豪徳寺墓地には井伊家十七代歴代藩主の墓標が立ち並ぶ、特に十六代井伊直弼大老の墓があることで有名である。

招き猫の絵馬がならぶ

アクセスデータ

- 所在地　世田谷区豪徳寺2-24-11
- 電話番号　03-3426-1437
- 最寄り駅　豪徳寺駅
- 交通　小田急線豪徳寺駅から
- アクセス　徒歩10分
- 入場時間　8：30～17：00
- 入場料　無料
- 御利益　運・商

環境問題のスピリチュアルな視座

第3回

痛み

正木 高志

1945年生まれ。東京教育大卒。60年代なかばからインドを旅し、80年に帰農。90年から91年にかけてモンタナ州立大学に招聘されて環境倫理学を講議。著書に『スプリング・フィールド』（地湧社刊）。熊本県菊池市在住

いま、僕の机に三冊の本がのっている。ブックオフで買ってきた吉本バナナ、柳美里、田口ランディの文庫本。各一冊百円。

どうしてこんな小説を買ってきたかというと、社会勉強をしようと思ったからだ。人里を遠く離れたこんな山奥で、自給自足に近い生活をしながら、ほとんど人と会わずに暮らしていると、世間離れしすぎて社会の役に立たなくなってしまうのではないか。久しぶりに帰ってきた娘がそんなことを言った。いまの若者たちの生身の心情を知らなければ何も語れないんじゃないの、と。それはそうだ、たしかに。自分も親に理解されていないと娘は感じているのだろう。

三人の小説には驚くほど共通するものがあった。もちろん、僕から見てということだけれど。まず状況設定が似通っている。**不況、リストラ、家庭崩壊、ホームレス**…。ストーリーは**不倫、離婚、失恋、自殺未遂**…。小道具として**カルト、オカルト、ドラッグ、自然志向**…。そしてモチーフは**不安、心の傷、精神異常、癒しと救い**…。

昭和の小説とはずいぶん趣が違う。これが現代人の苦しみの様相なのだろう。かなり悲惨だ。夢も希望もない。あるいは夢想だけをもてあそんでいると言ったほうがいいだろうか。自虐的でさえある。

「私は病んでいる」

あるとき僕は一本の桜の老木から声をかけられたことがある。湖畔の桜並木の道を歩いていたときのことだ。細かい雨が降っていた。僕はもの思いに沈んで、ゆっくりと歩いていた。

突然、

「私は病んでいる」という声がした。

驚いて見まわしてみたが、あたりには誰もいない。老いた桜の木が立っているだけだった。歩を止めて見上げると、木は、たしかに僕に語りかけていた。

見よ、私は病んでいる！

よく見ると、何本かの太い枝が切られ、傷跡には薬がつけられ、木肌は疲

れて艶がなく、灰色の薬が根元にもべったりと塗られていた。それまで何気なく見ていた桜並木が、実際には異常繁殖する害虫やウイルス、消毒や排気ガスや酸性雨などに痛めつけられて、病み、傷つき、疲れはてていたのだった。近寄って幹に手をあてると、ほとばしるように木の苦しみが伝わってきた。

「ああ、あなたはこんなにひどく病んでいたのですか」と僕は言った。

涙がこみあげてきて、あふれた。

「私だけではない」と彼は言った、「このつつじたちも病んでいる」。

見ると、桜の根元の植え込みのつつじたちもおなじように、いやもっとひどく、病み、疲れ、弱りはてていた。胸を突かれてあたりを見まわすと、子供の頃から親しんできた湖畔の芭蕉の茂みや楠の大木が、澄みきった水の中で生命の輝きにあふれていた水草や魚たちが、いまは見る影もなく疲れ、傷つき、弱り、病んでいた。

そのときはじめて、僕は死に瀕している自然の姿をまざまざと見たのだった。まるで癌の宣告を受けたかのようだった。このままだと環境は危機に陥ってしまう、というのではない。そうではなくて、すでに環境はひどい病におかされて、刻一刻と死んでゆきつつあるのだ。

生命の織物

――われわれは大地の一部であり、大地はわれわれの一部だ。香り高い花々はわれわれの姉妹。鹿や馬や鷲はわれわれの兄弟。山頂の岩も、野原の露も、温かいポニーのからだも、そして人間も、みなひとつのおなじ家族に属している。

これはいまから一五〇年ほど前に、現在のワシントン州シアトルの土地を追われることになった先住民の酋長シアトルが、アメリカ合衆国大統領に宛てて書いた手紙である。発見されてから幾度か手が加えられているらしいが、これらの言葉が自然に対する先住民のスピリットを表わしていることはたしかである。

――私は草原で、腐敗した千頭もの野牛を見た。通りすがりの列車から、白人たちが銃で撃ち殺した野牛だ。動物なしに人間の存在が考えられるだろうか？動物がみんないなくなってしまったら、魂の寂しさから、人間も死んでしまうだろう。なぜなら動物たちに起きることはそのまま人間にも起きるからだ。すべてはつながっている。

――大地に唾を吐くことは、自分自身に唾を吐きかけることだ。われわれは知っている、大地が人間のものでなく、人間が大地のものであることを。われわれは知っている、すべての存在がつながり合っていることを、血が家族を結ぶようにつながっているということを。大地にふりかかることはすべて大地の子らにふりかかる。人間が生命の織物を織ったのではない。人間は織物のなかの一本の糸であるにすぎない。人間が織物に対してなすことは、すべて自分自身にしているのだ。

苦の様相

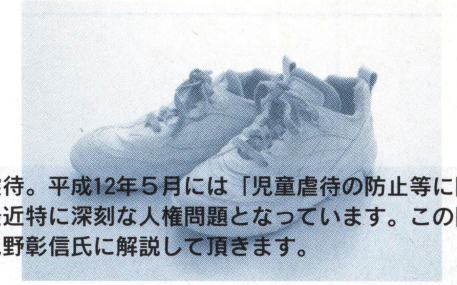
病んだ環境のなかで生活している現代人は、腐敗したぬか床の漬物が腐るように、癌や心臓病や糖尿病などの文明病に冒され、アトピーやアレルギー疾患に悩まされ、環境ホルモンによる生殖への深刻な影響を受けている。身体だけではない、精神も深く傷つき病んでいる。心の病は心理学レベルにとどまらず、精神科レベルの精神疾患が急増しつつある。キレる子供たち。学級崩壊。

モノと情報が氾濫し、身体や心は緊張しっぱなしだ。自律神経がバランスを崩し、心身ともに深く病んでいる。リラックスできず癒されない最大の理由は、酋長シアトルが予言したように、〈動物たちがいなくなってしまったからではないだろうか。本来いやしてくれるはずの自然が、いまは、もう、失われてしまったのである。お母さんが家出して、いなくなってしまった家庭のように。

テロ、アフガン、パレスチナ、そして恐慌寸前の世界経済…。新世紀の幕開けとともに人類が味わうことになったのは激しい痛みであった。

ディスカバー ヒューマンライツ②

－児童虐待について－



年々増加する児童虐待。平成12年５月には「児童虐待の防止等に関する法律」が成立し最近特に深刻な人権問題となっています。この問題について弁護士の見野彰信氏に解説して頂きます。

児童虐待とは

そもそも「児童虐待」とは、

①**身体的虐待**：殴る、蹴る、投げ落とす、煙草の火を押し付ける等、子どもの身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること。

②**性的虐待**：性的ないたずらや性行為そのものを強要すること、性器や性交を見せること等。

③**ネグレクト**：適切な衣食住の世話をせずに長期間放置する、家に閉じ込めて学校に行かせない、病気になっても医師にみせない、車の中に放置する等、保護者としての監護を著しく怠ること。

④**心理的虐待**：言葉で脅す、無視する、兄弟間で差別的な取扱いをする等、子どもに著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

をいいます。

警察庁の調査によれば、平成12年11月からの１年間に全国の警察が摘発した児童虐待事件は、前年同期より８件多い１８６件で、被害に遭った子どもの数も10人増の１９２人でした。もちろんこの数字は、事件として表面化した数ですので、実際にはもっと多くの児童虐待が行われている可能性があります。また、児童虐待によって死亡した子どもは、前年同期より30％多い56人（全被害児童の29％）にのぼり、子どもに対する虐待が死に結びつく傾向が一層強まっています。

なお、子どもを虐待するに至った動機は、「言うことを聞かないから」「しつけのつもりだった」などが大半を占めています。

虐待に気づくために

児童虐待は家庭という密室の中で起きる上、虐待をしている親はもちろん、虐待を受けている子ども自身も事実を隠す場合が少なくありません。以下のような虐待を疑わせる兆候を発見した場合には、一刻も早く関係機関に相談する必要があります。

①虐待行為を疑わせる状況

虐待行為そのものの目撃。身体的虐待を疑わせる音（叩く音や叫び声）。

②虐待を疑わせる子どもの状況

不自然な傷が多い。衣服や身体が非常に不潔である。常にお腹を空かせていて、与えると隠すようにしてガツガツ食べる。性的なことで過度に反応したり不安を示したりする。

③虐待を疑わせる親の状況

地域の中で孤立しており、子どもに関する他者の意見に被害的・攻撃的になりやすい。子どもが怪我をしたり病気になっても医者に見せようとしない。子どもを置いたまま頻繁に外出している。

（日本子ども家庭総合研究所『子ども虐待防止の手引き』）

児童虐待に関わる機関

児童虐待又は虐待の恐れについて相談・通告する機関には以下のようなものがあります。

①児童相談所

児童相談所は、虐待の相談や通告を受けると、子どもや家庭の状況の調査を行い、適切な処遇を判断し、場合によっては子どもの一時保護や親権喪失宣告の申立てといった一定の強制力を行使します。虐待に関わる諸機関の中で中心的な役割を期待されています。

②福祉事務所（家庭児童相談室）

各市町村の福祉事務所も、虐待の通告を受けた場合には速やかに調査や指導を行います。児童相談所に比べて数も多く、地域に密着しているため、きめ細かな対応ができます。

③保育所、幼稚園、学校

子どもの生活の場の一部となっている機関であり、虐待の発見や発見後の援助支援機関の１つとしての役割を果たします。

④保健所・市町村保健センター

健康診断等を通じて、子どもの発育や心身の状況、家庭の状況等を把握しやすく、虐待の早期発見において極めて重要な役割を担っています。

⑤児童委員

児童委員は、市町村の区域に置かれ、住民に最も身近な援助者として、子育てに関する相談・指導を行ったり、母親のグループを紹介するなど、きめ細かな支援を行ってくれます。

⑥民間団体

近年児童虐待に対処する民間団体が全国に数多く設立されていま

す。電話相談がメインですが、具体的な活動内容は団体によって異なります。

⑦その他の機関として、警察、家庭裁判所、婦人相談所、弁護士、医療機関などが挙げられます。

虐待者から子どもを引き離す方法

虐待を受けることにより、子どもには、身体の外傷のみならず、身体的精神的な発育の遅れ、心や行動面での問題など様々な症状が現れてきます。そこで早期の対策が重要となりますが、具体的には、

①施設入所、里親委託

一定期間親子を分離し、徐々に子どもを家庭復帰させた方がよいと考えられる場合、児童相談所等は、児童養護施設などへの入所、里親委託等の措置を取ります。なお、家庭裁判所の承認を得れば、親権者等の意思に反しても子どもを施設に入所させることが出来ます。

②児童相談所長による一時保護

虐待が繰り返されるおそれが強く、施設入所などの措置をとっている時間がない場合、児童相談所長は、緊急措置として子どもを一時保護することができます。

③親権喪失宣告

父又は母（或いは両方）の親権を喪失させる方法であり、親権喪失宣告が確定すると、宣告を受けた親は子の引渡請求権を含めた一切の親権を失います（ただし親子関係は存続します）。

④親権者変更

離婚の場合など、子どもが父母の一方の単独親権に服する場合、親権者である父又は母が子どもの福祉のために不適当である場合には、家庭裁判所は、子の親族の請求により親権者を変更することができます。

⑤刑事告訴

等の方法があります。他にも様々な対処方法がありますので、児童相談所や弁護士などの機関に相談なさるとよいでしょう。

児童虐待防止法

虐待されている子どもの早期救済を目指して、平成12年5月「児童虐待の防止等に関する法律」が成立しました。具体的には、

①学校や児童福祉施設の職員、医師、保健婦、弁護士らに早期発見の努力義務を課し、児童相談所に通告しても守秘義務違反を問わない。

②児童委員や児童相談所などの職員は、虐待の恐れがある場合、子どもの自宅などを立入調査し、警察官の援助を求められる。

③児童相談所長らは、保護した子どもに対する親の面会や通信を制限できる。

④虐待した親に必要に応じてカウンセリングを義務付ける。

などといった内容が盛り込まれています。児童虐待防止に向けて適切な運用がなされることが期待されています。

最後に

児童虐待は、「しつけ」とは明確に異なり、犯罪行為に該当するうえ、子どもの心身の発達及び人格の形成に大きな影響を及ぼす恐れがあります。虐待を疑わせる兆候を発見した場合には、できるだけ早く関係機関に相談又は通告しましょう。

文・見野彰信

早稲田大学法学部卒。民事・刑事・家事など法律問題一般を扱う。野田信彦法律事務所（札幌市）所属。

イスラームを考える

昨年、９月11日の同時多発テロ以来、多くのメディアでイスラームに関することが報道されています。我々も同じように信仰を持つものとして、イスラームとはどのようなものであるかを知っておく必要があると思われます。今回は、イスラーム理解の一助となるよう、中東報道者の会会長の牟田口先生の講演からイスラームに関する事項をご紹介いたします。

メッカ巡礼の様子

世界大戦を始めたのは？

ある講演会で次のような質問を受けました。「イスラームは平和な宗教ということだが、なぜ、過激な連中が出てくるのか？」また、イラン・イラク戦争のころでしたが「イスラームの国同士が争うのは、イスラム教の教義に何か欠陥があるのか」と聞かれたことがあります。そこで、外務省が開いた国際セミナーのパーティの時、ジャカルタ大学の法学部長に尋ねたところ、彼は「そんな質問を受けたことがない」と考えこみながら、「20世紀の２つの世界大戦を始めたのはイスラーム教徒ですか？　戦ったのはみんなクリスチャンではないですか。だが、キリスト教の教義に欠陥があるということが話題になったなんてことは、私は聞いたことがない」と、変化球で答えてくれました。

ジハード

最近よく出てくるのは「ジハード」です。「ジハード」というのは、そもそも物理的な戦争ではないのです。「神の道のために努力する」という、精神的なものなのです。

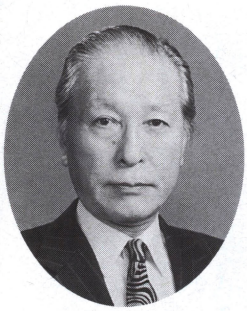
イスラーム教徒が持っている世界像は２つあります。「イスラームの家」と「戦争の家」。イスラーム圏ではイスラームの道が正しく行われて理想的な社会ができている。それができていないのが「戦争の家」であり、そこで彼らをだんだんに自分たちの努力で教化していく、これがそもそものジハードだというのです。だから、ジハードとは、「イスラームの家」を守るための戦、現代用語で言えば「専守防衛」のことですよ。

ところが、ムハンマドが死んで1,000年以上も経っているのに、イスラームは地球全土には広がっていない。ですから、現実論としては〝もう一つ〟ということで、その二つの間に「平和の家」、平和圏を想定し、ここにはイスラム圏ではないけれど、「降伏」した人たちなどが入る。イスラームというと、「剣かコーランかの二者択一を迫る狂信的宗教である」とよくいわれているようですが、そうではなくて「イスラームに帰依するか、降伏するか。二つとも嫌なら戦うか。」つまり「降伏する」というオプションがあって、彼らは出来れば降伏してほしいと思っていたのです。降伏した場合、今までの信仰はそのままでよろしい、その代わり、税金を払え、そしてその税

金もそれまでより安く設定する。たとえばダマスカスを攻めようと思ったら、ダマスカスを支配しているビザンツ側の税率はいくら調べておいて、それより安く設定する。すると降伏したら税金が安くなるというわけで一般市民は解放者としてアラブを迎えた。アラブは見事な現実主義者ですね。

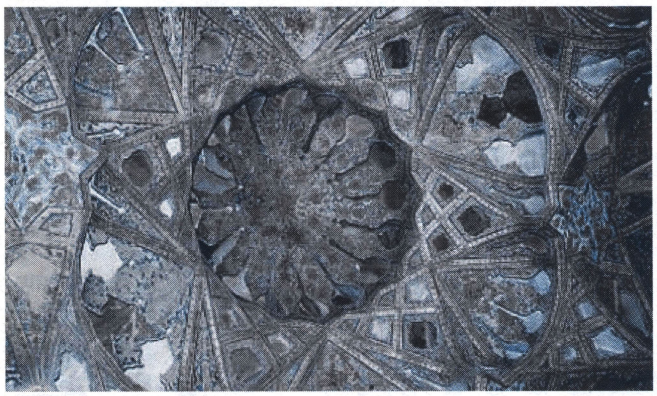
サラディンのジハード

聖地エルサレムが十字軍により市民の血の海の中で、奪われてから、エジプト・シリアの王サラディン（1138〜93）に奪回されるまでには90年もの月日が流れています。ジハードは簡単には成就しません。彼のジハードの跡を眺めてみましょう。



牟田口　義郎
1923年、神奈川県生まれ。東大仏文科卒業後、朝日新聞社論説委員、成蹊大学教授等を経て現在、中東報道者の会会長、中東調査会（財）常任理事。著書に『物語 中東の歴史』（中公新書）、『カイロ』（文芸春秋）等がある。

包囲された都が開城すると、サラディンは正規兵を要所に配置して、味方の雑兵が略奪に走るのを未然に防ぎ、降伏した者の生命財産を保障しました。そして国に帰りたい者たちには港まで護衛をつけてやり、キリスト教の聖地でもあるから、将来やってくる巡礼の道中の安全を保障すると約束しました。イギリスの有名な史家が次のように述べたのも当然でしょう。「彼のこの行為は、彼が当時の、またはおそらくはあらゆる時代を通じて、最も騎士道精神をもった征服者であることを示すのに十分であろう。」



モスクの内側

◆編集部註①　イスラームの語源

イスラームというアラビア語は「神への服従」を意味する。その語源はサラーム（平和）という言葉にある。イスラームとは平和・従順・放棄・素直・受諾・純粋・遂行、アラビア語でal-Islam「平和である事」また「絶対に帰依する事」一切を挙げて、神アッラーに任せ、他人に対して善行を施す事こそイスラームの真の意味である。ヨルダンのエル・ハッサン・ビン・タラール王子はこう指摘する。「イスラームの本質は平和です。生命の尊厳に敬意を払うことは私たちの信仰の要であり、すべての偉大な宗教の基本です」。預言者ムハンマドの子孫でもある王子は、世界宗教者平和会議（WCRP）の主要メンバーとしてイスラーム世界と欧米諸国の相互理解に力を注いでいる。

ムスリムにとって、コーランは純粋なアラビア語の源泉でもある。子供たちは学校でコーランを暗記し、大人たちは結婚式や葬式、祭日といった特別な機会にはコーランを唱える。偶像崇拝の禁じられたイスラームでは、コーランは目に見える信仰の証である。

◆編集部註②　ジハードについて

神の敵に対するジハード（聖戦）を規定した節は、魂の浄化と啓示を得るための個人の内面的戦いを説いているという解釈が普通だ。

ところが、ムハンマドの敵に対する武力闘争の意味だとする説もあり、現代のイスラーム過激派はこの解釈をねじ曲げ、非ムスリムに聖戦を仕掛ける根拠としている。

だが、イスラーム教には宗教上の中心的権威が存在しないため、こうした解釈を覆すことはできない。イスラーム世界にはカトリックのローマ法王に当たる人物はいない。異端者を破門する制度もない。そのため、イマーム（導師）が信徒に指針と知識を与えることはできても、最終的な宗教上の権威は聖典コーランそのものにあり、ムスリムはそれぞれ独自に、神の言葉を自由に解釈できる。

مَن قَتَلَ نَفْسًا بِغَيْرِ نَفْسٍ أَوْ فَسَادٍ فِي الْأَرْضِ فَكَأَنَّمَا قَتَلَ النَّاسَ جَمِيعًا

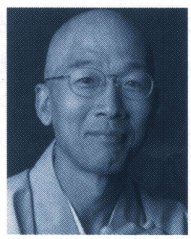
地上で悪を働いたという理由もなく人を殺す者は、
全人類を殺したのと同じである。『コーラン第5章32節』

※編集部注は本記事理解の一助となるべく牟田口先生監修のもと、編集部で作成いたしました

SOSEI INTERNATIONAL

アメリカ——2つの流れ

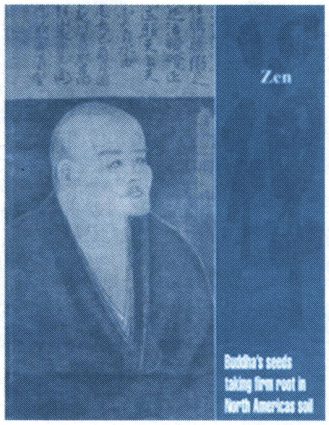
藤田一照



1954年、愛媛県生まれ。1987年、米国マサチューセッツ州ヴァレー禅堂の住持として渡米、現在にいたる。著書に『新こころのシルクロード』（共著 佐賀新聞社刊）、訳書にティク・ナット・ハン『禅への鍵』（春秋社刊）等がある。

仏陀の種子

さる一九九七年は曹洞宗北米開教七十五周年にあたり、それを記念して〝Buddha's Seeds Taking Firm Root in North America's Soil（『北アメリカの土壌にしっかりと根をおろしつつある仏陀の種子』）〟という冊子が作られました。これは北アメリカにおいて「曹洞禅」を奉じて活動している二十九におよぶ寺院・禅センターについてそれぞれの設立の経緯と活動の概要を写真とともに紹介したものです。アメリカ各地で活動している多数の小さな曹洞禅グループは網羅されていませんが、それでも北アメリカにおける曹洞禅の現況を垣間見るための貴重な資料といえるでしょう。この冊子によれば、アメリカにおける曹洞禅の展開には大きく言って「二つの流れ」があった事が分かります。



エスニック曹洞禅

ひとつは日本人の血統をひいているアメリカ人、つまり「日系アメリカ人」によって創設され、以来、日系人強制収容などさまざまな試練を乗り越えて守り継がれてきた「寺院」を中心とする流れです。歴史的にいえばこの流れはもう一つの流れよりもだいぶ先に緒につきました。この冊子にはロサンゼルスの禅宗寺（一九二二年創設）やサンフランシスコの桑港寺（一九三四年創設）等五つの寺院（すべて米国西海岸のカリフォルニア州にあることに注目）が紹介されています。これらの寺院は開教師である「住職」と家族単位の「メンバー」（ほとんどが日系アメリカ人）によって構成されています。坐禅会や仏教の学習会などの活動よりは、葬儀や先祖供養などの法要や茶道等日本文化教室の運営、盆踊りや餅つき大会などの日本的な行事の開催の方に主力が注がれています。檀家制度にもとづく日本の一般の寺院に近いありかたをしていますが、日系人達の民族的アイデンティティを確認・維持するための「文化的コミュニティセンター」として機能することが強く要求されてきたという点で独自の性格をもっています。この流れを、「日系人による日系人のための曹洞禅」という意味でいま仮に「エスニック曹洞禅」と呼んでおきます。

エリート（ホワイト）曹洞禅

もうひとつは、アメリカに禅をもたらした初期のパイオニア達（主に臨済宗系）による「地ならし」のあと、一九五十年代の「禅ブーム」（鈴木大拙やアラン・ワッツ、ジャック・ケルアックらのビート・ジェネレーションの禅に関する書物によるところが大きい）を経て、六十年代には禅を本格的に学びたい（できれば悟りを得たい）

ヴァレー禅堂内部

と望むヨーロッパ系アメリカ人たちが出現し、日本人の禅指導者が彼らとともに「禅センター」を創設することでできた流れです。禅センターに集まった人々の多くは比較的学歴の高い、中流家庭出身の若い白人層でした。そこでの活動は、日本人僧侶の指導による坐禅の修行と禅および仏教の学習、センター維持のための作務をすることが中心でした。日本の専門僧堂での修行形態がモデルとなっていますが、そこで修行をしているのが出家ではなく在家の男女であることが大きな違いです。こうした流れを確立する上で大きな足跡を残した鈴木俊隆老師（一九〇四-七一）も前角博雄老師（一九三一-九五）もはじめは開教師としてそれぞれ桑港寺、禅宗寺にやってきたのですが、その後独立してそれぞれサンフランシスコ・ゼン・センター（一九六二年）、ゼン・センター・オヴ・ロサンゼルス（一九六七年）を創設してアメリカ人の中に入って精力的に禅の指導を行いました。この二つの禅センターを起点とし、全米各地にいくつもの支部的禅センターがつくられ、いわば「鈴木老師系」、「前角老師系」の禅センターのネットワークを形成し今に至っています。この流れを、比較的恵まれた境遇の白人達が中心になっているところから、いま仮に「エリート（ホワイト）曹洞禅」と呼んでおきます。

授戒式風景

二つの流れの関係

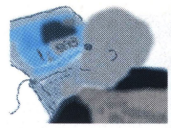
アメリカにおける曹洞禅の歴史を大雑把にふりかえってみるとき、まず気がつくのはこうした二つの流れがほとんど交わることなく平行したままで展開してきたことです。この事実を見つめるとき、「いったいどちらの流れが本来の姿なのか？」「そもそもなぜこのように二つになってしまったのか？」「本来どうあるべきだったのか？」「曹洞禅の曹洞禅たるゆえんはいったいどこにあるのか？」「将来のあるべき姿とは？」…といった多くの問いが浮かび上がってきます。次回も、もうすこしこの「二つの曹洞禅」の問題を考えてみたいと思います。

冬のヴァレー禅堂

寺院用仏具・仏壇・製造販売
曹洞宗梅花流法具販売指定店
HŌ-KO
放光（ほうこう）
本店・工場　〒940-0825 新潟県長岡市高畑町617番地　☎(0258)33－5644
新潟店　〒950-0941 新潟市女池2丁目2－11　☎(025)280－1550
川越店　〒350-0036 川越市小仙波2丁目20－1　☎(0492)27－7666
高崎営業所　〒370-0046 群馬県高崎市江木町1179－2　☎(027)324－3721
長野営業所　〒380-0911 長野市稲葉1980－1　☎(026)222－3811

◆今話題のインターネットとは◆

インターネットの世界をのぞいてみよう！〈18〉



曹洞宗青年会のホームページ「般若」にご好意でリンクさせていただいている団体やお寺さまを前回に引き続きご紹介をいたします。(関東・甲信越以南と最近更新されたリンクを掲載しています)。尚、サイトが見つからないホームページにつきましては掲載しておりません。あしからずご了承下さい。

リンクをつかって ネットサーフィン その2

◆天童寺　北海道　http://www.tendouji.com/
◆法林寺　静岡県　http://www2.wbs.ne.jp/%7Ek-528/
◆成道寺　愛知県名古屋市南区
http://www.jodoji.com/
◆神応寺　京都府亀岡市
http://ha6.seikyou.ne.jp/home/Jinnouji/
◆流転会
ドイツ出身の禅僧のホームページ、坐禅会の案内等
http://www.geocities.com/muho11/rutenkai.html
◆常明院　滋賀県大津市
http://www.cable-net.ne.jp/user/terao-ji/
◆神宮寺　三重県一志郡嬉野町
http://www.ztv.ne.jp/jing/
◆東正寺　三重県鵜殿村
http://www2.ocn.ne.jp/~tousyou/
◆永源寺　兵庫県養父郡八鹿町
http://www.fureai-net.tv/eigenji/
◆安泰寺　兵庫県美方郡浜坂町
http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Hanamizuki/5235/
◆HIRO'S HOME PAGE　広島県呉市
坐禅に関する情報，内山興正老師の紹介他
http://www.urban.ne.jp/home/junsoyo/fopen.htm
◆善昌寺　広島県甲奴郡上下町
http://www.fuchu.or.jp/~zenshoji/
◆光源寺　岡山県阿哲郡哲西町
http://www.fureai-net.tv/eigenji/
◆満正寺　鳥取県倉吉市　http://www.hal.ne.jp/tenrin/
◆宝宗寺　山口県阿武郡福栄村
http://www2.ocn.ne.jp/%7Epetreien/
◆定光寺　山口県光市
http://www1.linkclub.or.jp/~joukouji/
◆海潮寺　山口県萩市「なるほど法話　海潮音」
http://www.haginet.ne.jp/users/kaichoji/
◆永林寺　佐賀県杵島郡北方町
http://www.saganet.ne.jp/eirinji/
◆本光寺　佐賀県伊万里市　http://honkoji.net/
◆釣蔵院　大分県豊後高田市
http://www.coara.or.jp/%7Emachoki/chouzouinn.htm
◆喝破道場　香川県高松市
http://www.netwave.or.jp/%7Ekappa/
◆カウアイ禅宗寺
ハワイ開教総監部カウアイ島にあります禅宗寺のHP
http://www.geocities.com/zenshuhji/

新たに追加されたリンク

◆千葉県曹洞宗青年会
千葉県曹洞宗青年会のホームページ
http://www.chisosei.jp/
◆曹洞宗茨城県宗務所
曹洞宗茨城県宗務所のホームページ
http://www18.u-page.so-net.ne.jp/fa2/soto-ibs/
◆曹洞宗四国管区教化センター
曹洞宗四国管区教化センターのホームページ（i-mode対応版）
http://www7.ocn.ne.jp/~kyoka459/
◆玉川寺 山形県東田川郡羽黒町
http://www.gyokusenji.or.jp/

ホームページアドレス変更

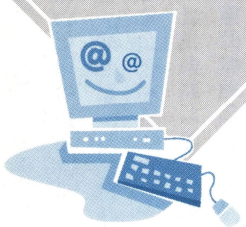
◆玉林寺　秋田県仙北郡西木村
http://www.jomon.jp/%7Eoldpine/index.html

◆営業品目◆
寺院専用各種記念品・慶弔
御布教用品・お供物品・その他寺院用品全般

「誠実」日本一を貫く
和顔愛語の和顔堂
㈱和顔堂　0120-7676-00
〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-14-14

和顔堂の基本理念
人生は愛を刻む旅であり
企業は誠実を貫く旅である。

パソコン格闘記



メーリング・リストについて

◆はじめに◆

「メーリング・リスト（mailing-list）」とは、英語としては一般的に「郵送先名簿」という程度の意味ですが、インターネット上に於いては、ある共通の趣味や話題、目的をもった人々のグループが、電子メールを発展的に用いて、情報を相互に提供・共有しあう場という様な意味をも持っています。

■メーリング・リストの仕組み

ある共通の趣味や目的をもつ人々で構成されるグループ、例えば、A、B、C、Dという四人によって構成されるSOUSEIというグループ（メーリング・リスト）があると仮定します。そのSOUSEIというメーリング・リストの中のある人物、例えばAさんが、共通の目的などに沿った情報を、SOUSEIというメーリング・リストの方々全員に送りたい場合、ある代表的な一つのアドレス宛にその情報（仮にaとします）を送信すると、そのaという情報を含んだⓐというメールが、SOUSEIという集団を構成するA、B、C、D四人全員に自動的に送信されます。このⓐというメールは、SOUSEIという集団に参加していない人々、例えば、EさんやFさんには送信されません。更に、そのⓐというメールに対する返信を、例えばBさんが、Re: ⓐ等という形で送信すると、そのRe: ⓐというメールもA、B、C、D四人全員に、自動的に送信されます。

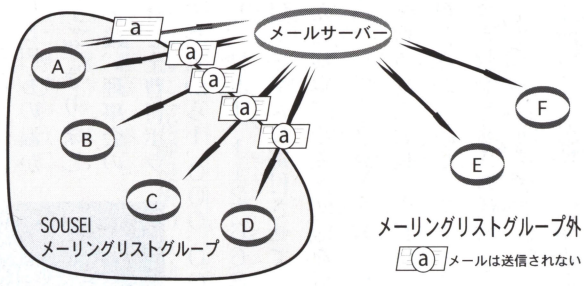
この様に、あるメーリング・リストに登録すると、そのリストに登録している全員にメールを送信出来たり、それに対する返信もまた全員で共有することが可能となり、またこの仕組みを用いて、住所を全く異にする者同士が、時間帯の制約も受けることなく、連絡を流したり、会議にも似た情報交換を行ったりすることが可能となるのです。（右図参照）

■メーリング・リストへの参加の仕方と注意点

メーリング・リストに実際に参加してみたい方は、先ず、御自身が目的とする様な題材を扱ったメーリング・リストを、書籍やインターネットの検索エンジンなどを用いて探し、参加・登録などの手続きをする必要があります。その手続きは、メーリング・リストの実際の管理者が、手動で行っているか、或いは、ソフトなどを用いて自動管理させているかによって多少異なりますが、どちらの場合も、参加案内文等に従って、参加資格・注意事項を確認した上、電子メールによって処理されるのが通例です。また、実際にメーリング・リスト内で投稿する際の注意事項に関しても、例えば、添付ファイルの貼り付けを全面的に禁止している場合があるなど、各メーリング・リストによって異なりますので御注意下さい。

（金子宗元記）

メーリングリストの仕組み



〈梅花流法具指定販売店〉
法衣・袈裟・打敷・寺院荘厳具・京仏壇・京仏具
安 株式会社 安藤
本　社
（〒605-0081）京都市東山区古門前通花見小路東入ル
0120-29-8161（法衣部）
0120-29-8165（仏具部）
0120-19-8168（贈答品部）
東京店
（〒105-0014）東京都港区芝2丁目15番2
0120-3232-09
福岡店
（〒812-0036）福岡市博多区上呉服町12-7
0120-2143-22

この道一筋
歴史ある日本の伝統建築を
守り続けて90余年。
日本古来の伝統の技を伝承する、
魚津の設計と施工。
神社・仏閣専門建築
株式会社 魚津社寺工務店
〒454-0004　名古屋市中川区西日置二丁目12番20号
TEL(052)331-3080・0854　FAX(052)332-3540

全曹青情報局

アフガニスタン難民緊急支援について

去る9月11日に米国同時多発テロ事件が発生しました。全曹青としては前号の会長声明に引用させて戴きましたように「実にこの世においては怨みに報いるに怨みをもってしたならばついに怨みは息むことがない。怨みを捨ててこそ息む。これは永遠の真理である。」という釈尊のお示しのように世界の国々が武力に頼らない平和的な解決を望んできましたが、10月8日米英両軍がアフガニスタンの首都カブールなどに空爆を開始。多くの一般市民が犠牲となり、多数の難民が発生してしまいました。

全曹青としても何とかこれらの被災民の方々に対して支援させて頂きたいと思いボランティア委員会が中心となって執行部会などで支援の方法についての話し合いがもたれました。当初、衣類等を送るという案も出ましたが社団法人シャンティ国際ボランティア会（ＳＶＡ）へ打診したところ、現地への輸送が困難というご指摘を頂戴しました。そこで、現金を寄付させていただき食料等の支援に役立てていただくこととなりました。「禅文化学林東北大会」にて、募金を呼びかけたところ１１２、６６８円もの温かい浄財が集まりました。その後、理事会の議決を経て全曹青ボランティア基金から１、０００、０００円を支出し、合計１、１１２、６６８円を１月９日にＳＶＡに寄付させていただきました（概算で小麦粉80kgを600家族分に相当）。その際ＳＶＡ会長松永然道師と全曹青池上会長、奥野ボランティア委員長らが会談し、アフガニスタン支援の現状やＳＶＡの活動、宗門との関わりなどをお聞きしました。

本件については次号「そうせい」で詳細をご報告します。

SVA本部にて松永SVA会長と池上全曹青会長

ＳＶＡではアフガン難民に対しての募金活動を行っております。募金を希望される方は、

郵便振替口座番号　００１７０－８－３９７９９４　加入者名　「ＳＶＡ緊急救援募金」まで募金下さい。

―全国の郵便局から郵便振替でご送金される際は振替手数料が免除されます。―

＊一般の募金と区別するために、通信欄に「アフガン難民」とお書き下さい。

SVAによる「国際ボランティアの寺」会員募集について

SVAでは、長期に亘ってアジア子ども教育・文化支援活動を支えてくださる「国際ボランティアの寺」への参加を呼びかけています。申し込み頂くとプレートと募金箱が送られます。檀信徒に手作り募金箱シールを配布していただき、毎年一定額の寄付金と募金箱に集められた金額を送っていただくことになります。

全曹青としても、会員となって頂ける御寺院を募集いたします。

お問い合わせ先
〒160-0015
東京都新宿区大京町31慈母会館 2・3階
社団法人
シャンティ国際ボランティア会
宗教部門担当　三橋成文
電話　03-5360-1233

慕古事業推進特別会議

12月11日遠忌局桜井老師と全曹青池上会長、高原事務局長、森議長との間で話し合いがもたれた。会議の席上、平成14年全曹青の慕古事業は遠忌局との共催という形をとることが決定した。全曹青の慕古事業の中でも特に東司掃除の実践運動に対しては遠忌局の力強い支持を受けることが出来た。「慕古の実践」を全体のテーマとし、12月現在まで、以下の内容での事業展開を検討中。

東司掃除の実践運動

お釈迦様は東司で羅喉羅に「出家はまさに苦を忍ぶべし」と説法された。道元禅師は『正法眼蔵洗浄の巻』で、この故事が祖祖相伝してきたことを、「慕古の慶快」と言われ、「東司は仏の道場なり」と示された。我々は禅門の七堂伽藍に東司があるのは、釈尊直伝の「大転法輪道場」であり、大小便の作法、心得が仏祖正伝の仏儀として今日に伝えられているということを再認識し、そのような東司を一生懸命に掃除することこそが慕古の心の現れであることを伝える。具体的展開としては、ポスター等を作成し会員や協賛寺院、各単位曹青が主催する禅の集い参加者などに配布。宮城県昌竜寺住職霊元丈法老師にデザイン等を依頼した。

青年会の日（平成14年8月29、30日永平寺にて開催予定）

遠忌局との対話の中で8月30日を青年会の日として何か行事をしてほしい旨が永平寺側から提案された。12巻正法眼蔵の奥書に「先師最後の教勅なり、若し先師を恋慕し奉らん人は、必ずこれを書して護持すべし」とあることから、会員に呼びかけて、8月29、30日の一泊二日で高祖真前にて報恩坐禅、八大人覚の書写奉納、読誦を計画している。さらに当日は東司掃除の意義についての講演を予定している。なお、一般向けには傘松道詠の書写、奉納を準備する。

禅文化学林の開催（平成14年11月27、28日駒澤大学および檀信徒会館にて開催予定）

青少年を対象に「仏の誓願（慕古心）」を伝えることを目的とし講演会、分科会を企画中。講演会は駒澤大学にて開催、講師については現在選定中。分科会は檀信徒会館で開催、―青少年教化の問題点と展望―をテーマに会員とともに委員会ごとについて（ボランティア、授戒、広報、インターネット、青少年教化）討議する予定。尚、托鉢については、全曹青主管による事業は見送り、浄財の受け入れ先の紹介等にとどめる。

平成13年度　全国曹洞宗青年会第2回評議員会開催される

―曹洞宗檀信徒会館　桜の間―

平成13年10月30日、全国曹洞宗青年会評議員会が曹洞宗檀信徒会館において開催された。

全国各県の曹青会組織より評議員、管区理事が集まり、執行部合わせて70余名が出席。

午前9時から執行部会、11時から理事会。午後1時から評議員会が開催され、議案の審議が行われた。

また、午後4時からは、各単位曹青事務局長及び広報担当者会議が行われた。

評議員会は、池上幸秀会長の挨拶に引き続き、議長に平川義雄師（曹洞宗佐賀県青年会）、副議長に池田道倪師（和歌山県曹洞宗青年会）がそれぞれ選出され、議事が進行した。

第一号議案「各委員会活動経過報告」が各委員長により報告された。

第二号議案「慕古事業実行委員会立ち上げについて」では、来年の道元禅師七五〇回大遠忌に向けて「慕古事業実行委員会」を結成することに満場一致。

実行委員長に池上幸秀会長。実行委員として、全曹青執行部、理事、評議員、委員会委員が承認された。

また、同会を推進するに当たって、「慕古事業推進特別会議」を設置し、議長に森　道輝師。副議長に白井応隆師・多飯宗道師がそれぞれ選ばれた。

事業の概要として、

①東司（トイレ）掃除の推進運動　各家庭において、青少年等が、東司（トイレ）を掃除することによって、東司（トイレ）の使い方、作法・心得を体得してもらえるよう運動を推進する。

②托鉢　会員自身の実践行として行う。

③禅文化学林の開催　価値観が多様化している現在、混迷している現代青少年が生きていく上での一助となるものを提供する場として、禅文化学林を東京にて開催する

④「青年会の日」開催　平成14年8月29・30日　大本山永平寺にて「慕古」の実践すなわち坐禅に親しむことを第一の目的とする。さらに一人でも多くの会員諸兄が集うことで和合僧の姿を示し、その絆を確認しあい一層深め、仏祖の兄弟としての意識を高める。

このような事業の計画を来年、道元禅師七五〇回大遠忌の年に向けて全国青年会会員協力のもと展開して行く旨が承認された。

第三号議案、「第十五期会長選考委員会立ち上げについて」、次期会長選考委員会委員長として浦辺世紀師（九州管区理事）が、副委員長として芳村元悟師（北海道管区理事）が選出され、浦辺世紀師より会長公募の説明があった。

最後に、全日本仏教青年会活動経過報告が山口英寿副会長よりなされ、評議員会が閉会された。

各単位曹青事務局長及び広報担当者連絡会議開催

―曹洞宗檀信徒会館　桜の間―

評議員会に引き続き、午後4時より各単位曹青事務局長及び広報担当者の会議が三十一名出席のもと行われた。

この会議は今回が初めての試みとなる。

始めに、各単位曹青より、それぞれの青年会の紹介や、発行されている広報誌の紹介等があり、次に各青年会が抱える問題点等を意見交換した。

意見交換の中では会員数の減少や研修会などへの参加意識の低下、あるいはボランティア活動への寺庭も含めた積極的な参加などといった様々な地域の実情が紹介され、情報交換の場として大変有意義な会となった。

全国曹洞宗青年会 第15期会長の公募について

会長選考委員会において、会則並びに細則に従って下記の事項が決定されました。全国曹洞宗青年会第15期会長立候補者は、下記の要項に従い、立候補届け出を完了してください。

全曹青第15期会長選考委員会　委員長　浦　辺　世　紀

全国曹洞宗青年会　第15期会長選考委員会届け出要項

一、立候補届け出並びに履歴書の提出
（書式Aを参照）

二、立候補者の曹洞宗青年会における経歴書の提出　（書式Bを参照）

三、推薦状
(1)管区曹洞宗青年会代表
（書式Cを参照）
(2)単位曹洞宗青年会代表
（書式Dを参照）

四、立候補に当たっての執行方針の提出
（書式は任意）

五、立候補届け出先
〒979-2702
長崎県松浦市今福町仏坂免九五八
宛陵寺
第15期会長選考委員会
委員長　浦　辺　世　紀
☎0956-74-0139

六、立候補届け出提出期限
平成十四年二月二十八日（必着）

七、届け出方法　必ず郵便書留にてお願いいたします。

選考委員の構成は左記の通りです。

委員長
浦辺　世紀（九州管区理事）

副委員長
芳村　元悟（北海道管区理事）

委員
池上　幸秀（第十四期会長）
実浄　典英（関東管区理事）
白鷺州浩道（東海管区理事）
小泉　義和（近畿管区理事）
森山　容光（中国管区理事）
北口　善則（四国管区理事）
原山　浩昭（北信越管区理事）
斎藤　崇淳（東北管区理事）

全国曹洞宗青年会会則（抜粋）

第三章　役員

第九条（役員の種類及び数）
本会に次の役員を置く。
①会長　一名
②副会長　三名
③理事　九名
④委員長　各一名
⑤事務局長　一名
⑥会計　一名
⑦監事　二名

第十条（役員の資格及び選任）
一、本会の役員は第七条に定める正会員の中から就任年度四月一日に三十九歳以下の者より選任する。但し、理事の年齢についてはその限りではない。
また、期間中は、正会員としての権利及び義務を有する。
二、本会の役員の選任は次の通りとする。
①会長は、別に定める細則に従って選任する。
②副会長は、別に定める細則に従って選任する。
③理事は、各管区に於いて一名選出する。
④委員長は、理事会で選任し、評議員会の承認を得る。
但し、特別委員会委員長はその限りではない。
⑤事務局長は、会長が指名し、理事会並びに評議員会の承認を得る。
⑥会計は、会長が指名し、理事会並びに評議員会の承認を得る。
⑦監事は、理事会が推薦し、評議員会の承認する。

第三号　会長副会長選出に関する細則

第一条　この細則は、本会の会則第十条第二項に基づき、会長・副会長選考に関する事項を規定する。

第二条　会長・副会長選考を行う為、選考委員会を組織する。

第三条　選考委員会は、理事及び現会長をもって構成する。

第四条　選考委員長及び副委員長各一名は、委員の互選による。

第五条　選考委員会は次期会長候補の届け出の諸手続きを定め、初年度の二月十五日までに公報する。

第六条　次期会長候補者は、管区曹青会代表者と単位曹青会代表者の推薦状を付けて選考委員長宛に届け出た者とする。

第七条　次期会長予定者の選考は、第六条の定める候補者の中より、選考委員会で、責任をもって選考する。

第八条　次期副会長予定者の選考は、選考委員会と次期会長予定者と協議し、責任をもって選考する。

第九条　選考委員会は、選考した次期会長予定者及び副会長予定者を、評議員会の決定を得て、現会長の任期二年目総会でその承認を行う。

書式A

平成　年　月　日

全国曹洞宗青年会
第　期会長選考委員会
委員長　殿

全国曹洞宗青年会　期会長に立候補致します。

都道府県　第　宗務所　教区　寺籍番号
寺院名
氏名　印

候補者の履歴
1：生年月日　昭和　年　月　日
2：所属曹青会　管区　青年会

注）個人加盟の場合は、所属曹青会の記入は不要です。

添付書類
1：立候補者の、曹洞宗青年会における経歴書
2：推薦者名簿
3：立候補にあたっての執行方針

書式B

立候補者の曹洞宗青年会における経歴（例）

【昭和62年4月　○○県曹洞宗青年会入会】
【平成3年4月　○○県曹洞宗青年会庶務】
【平成5年4月　○○県曹洞宗青年会理事】
【平成7年4月　○○県曹洞宗青年会事務局長】
【　同　年　○○管区曹洞宗青年会理事】
【　同　年　全国曹洞宗青年会○○委員】
【平成9年4月　○○県曹洞宗青年会副会長】
【平成9年4月　全国曹洞宗青年会○○委員長】
【平成11年4月　○○県曹洞宗青年会会長】
【　同　年　○○管区曹洞宗青年会副会長】
【　同　年　全国曹洞宗青年会評議員】

以上の経歴に相違ないことを証明いたします。
宗務所　第　教区　番
寺院名
経歴作成人　印

書式C

平成　年　月　日

全国曹洞宗青年会　第　期会長選考委員会
委員長　殿

全国曹洞宗青年会　第　期会長に
師を推薦致します。

管区曹洞宗青年会名（　）
管区曹洞宗青年会於ける推薦人役職名（　）

宗務所　第　教区　番
寺院名
推薦人　印

書式D

平成　年　月　日

全国曹洞宗青年会　第　期会長選考委員会
委員長　殿

全国曹洞宗青年会　第　期会長に
師を推薦致します。

単位曹洞宗青年会名（　）
単位曹洞宗青年会於ける推薦人役職名（　）

宗務所　第　教区　番
寺院名
推薦人　印

尚、書式A～Dに関してはA4版にてお願いいたします。

プロジェクト京 kyoto

前号で告知いたしました「高祖道元禅師七百五十回忌大遠忌予修法要法灯行脚」。京都曹青会によって無事厳修されました。開催までには様々なご苦労があったそうです。しかしその反面会員相互の絆はマックスに高まりました。京都曹青副会長の米澤昭博師に、法灯行脚を振り返って頂きました。

プロローグ・・・

平成13年春、京都曹青総会において西村良浩会長より、青年僧らしい大遠忌報恩事業「法灯行脚」の提案があった。内容は永平寺承陽殿にて採火した法灯を予修法要会場である京都福知山まで行脚して運ぶということであった。全行程約二百十キロ。会員の顔には不安と、希望が交錯した。議事の結果可決された。満場一致だった。

準備、行脚当日

その後、会員達は会合に会合を重ねた。何度も下見に走り、距離を測った。拝宿寺院や宿、休憩地や食事の手配等、多忙を極めた。六日間に渡る行程中のシフト・サポートのあり方、法灯の運び方等々・・・不安も尽きなかったが、開催日が近づくにつれ皆の顔は輝いていった。

いよいよ迎えた当日。導師に宗務所長老師。法灯は無事採火され、四つの提灯に灯された。万一の事を考え、ランタン二つ、カイロ二つで入念に法灯を守った。

承陽殿から佛殿を通り、山門までの行

列は今だ前例の無い事だった。感動で胸の中が一杯になった。山門頭での法要の後、遠忌局事務局長山田老師より激励を賜り法灯行脚は始まった。十月十五日。空は抜けるような秋晴れだった。

会員相互の絆

旅の途中、会員達に変化が生じた。「疲れている者を休ませてやろう。」「自分が代わりに歩く。」そんな思いが芽生え「大丈夫か、無理をするな」という言葉が自然に交わされた。夜には互いに傷の手当てやテーピングをする姿が見られた。めいめいが心からいたわりあえた。絆がさらに強くなった。

一日だけ歩いた者、車でサポートした者、全日程歩いた者、それら全ての者達の思いが徐々に一つになっていった。道中で応援の声を掛けて頂いた方々。峠道、御詠歌で迎えてくれた講員さん。手作りのお料理で迎え、汚れた手甲と脚絆を深夜洗ってくれた御寺族の方々。幕を張り梵鐘を打ちつつ迎えて下さった拝宿御寺院の皆様。遠路激励のために駆けつけて頂いた大阪曹青の方々。その一人一人の後押しが会員を支えた。

本来の「速度」

会場に無事法灯を奉納し、今回の行脚を振り返ったとき、「歩く」ということを通して本来の「速度」を再認識した。畑や田圃のにおい。野に咲くコスモスやすすき、野菊、山の色、海の色そして海の香り、車などでは感じる事ができない事ばかりであった。六日間二百十キロの行程は終了した。

応援を頂いた全ての方々道中すれ違った全ての方々、全ての者へ感謝し、行脚の報告といたします。合掌。

参加者／京都曹青会員

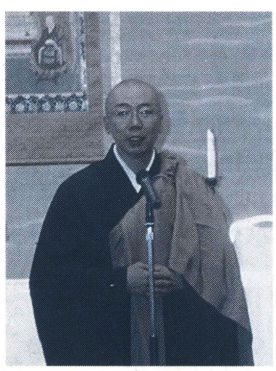
協　力／拝宿提供御寺院　御寺族　梅花講講員　大阪曹青会　近連

協　沿道の人々

第二十四回中国曹洞宗青年会　いずも大会　シンポジウム

テーマ　我々は何をすべきか
―若者との接点を求めて―

三人の講師による、若い僧と五時間の大ディスカッション



いずも曹青会長
吉長　裕教師

去る、十一月八日午後から九日午前の両日にわたり、松江市ホテル白鳥において、第二十四回中国曹洞宗青年会いずも大会を、主管いずも曹洞宗青年会のもと開催いたしました。

講師として鶴見大学講師、尾崎正善師。大本山永平寺役寮、南　直哉師。島根県宝隆寺住職、和田善明師の三師を招き、コーディネーターを当青年会の佐藤良元師が務め、二日間に亘り五時間のシンポジウムを行いました。

今大会は、いずも曹洞宗青年会が一年以上前より、会長吉長裕教師を中心にして企画してまいりました。

そして考えられたのは、「時代を担う現代の若者との接点を求めて、青年僧侶は今何をすべきか。」という問いかけに対し新進気鋭の講師三人を囲んでディスカッションをするという企画でした。

更に私達は、大会資料として島根県

内の一般市民六〇〇人からアンケート調査をし、寺院に対する十四の項目からなる意識調査をまとめました（下記参照）。

この調査レポートでは、お寺が社会に貢献する期待感が現れていましたが、同時に若者の無関心さが如実でした。

当日の大会に、私達が作成した調査資料を参加の皆様に配り、シンポジウムのテキストにいたしました。

両日のシンポジウムには中国五県から九十余名の青年僧に参集いただき、三人の講師を交え会場の若い僧侶とテーマについて深い内容のディスカッションが出来ました。

ディスカッションでは、地域に開かれた寺のありかた、生きた法要の構築、葬式、法事での法話の仕方、寺院における社会貢献の有り様、宗教の信頼回復の努力等の貴重な提言を聞くことが出来、大会が盛会に終わることが出来ました。

私達青年会としても、この大会を通して他県の会員同士との交流を図る事が出来、実り多き大会であったと感謝しております。

当日、来賓戴きましたご老師方々はじめ、お力添えを頂いた関係各位の皆様、そして全曹青会長池上幸秀師、全曹青副会長山口英寿師には心より御礼申し上げ大会の報告といたします。

いずも曹洞宗青年会

お坊さん（お寺）についてのアンケート調査集計結果概要

島根県東部在住の無作為抽出した六百人に回答を得た

問一　年齢について
十代から六十代まで幅広く協力して頂いたが、二十代（24％）三十代（23％）四十代（20％）五十代（21％）が大半を占めた

問二　性別
男性より女性の回答者が若干多かった

問三　職業
会社員、自営業、主婦が多かった

問四　家族構成
二世帯家族（26％）核家族（24％）続いて三世帯以上（22％）が続いた。

問五　信仰している宗教
全世代通じて一位が仏教、二位に無宗教、三位が神道だった

問六　宗教をどのように思うか
一番多かったのは「心のよりどころになる」二番目が「社会道徳の基盤」三番目が「心の痛みを和らげてくれる」だったが、「わからない」も多かった

問七　生きていく上で宗教が必要だと思うか
全世代通じて「必要」が多かったが、二十代、三十代では約半数が「わからない」、特に二十代では「いらない」も目立った。

問八　仏壇の有無
「ある」62％、「ない」38％

問八ー一　「ある」方　仏壇を拝むか
「毎日」33％「ときどき」40％「ごくまれに」22％

問九　墓参り経験
「ある」が圧倒的に多かった

問九ー一　墓参りの理由
「先祖がいるから」が圧倒的だった

問十　お寺参りの経験
「ある」が圧倒的に多かった

問十ー一　寺参りの理由
「法事」が圧倒的に多かった

問十一　坐禅の経験
「ある」36％「ない」62％

問十一ー一坐禅経験の動機
会社・学校の研修が多かった

問十二　お寺のイメージ
「ありがたいところ」「感じない」が半々

問十三　僧侶のイメージ
「感じない」が多く「ありがたい」はその次に多かった

問十四　僧侶に期待する事
「仏教の教えを説く」が一番多く「生活の手本」が次に多かった、二十代では「期待しない」も目立った

※アンケートの詳細については全曹青ホームページ「般若」上に掲載予定です。

［曹洞宗岐阜県青年会出版物の紹介］

曹岐青では、三点の出版物を開発し、現在も全国の宗門の御寺院様でご利用いただいております。サンプル・資料をご希望の方は左記連絡先までお問い合せください。

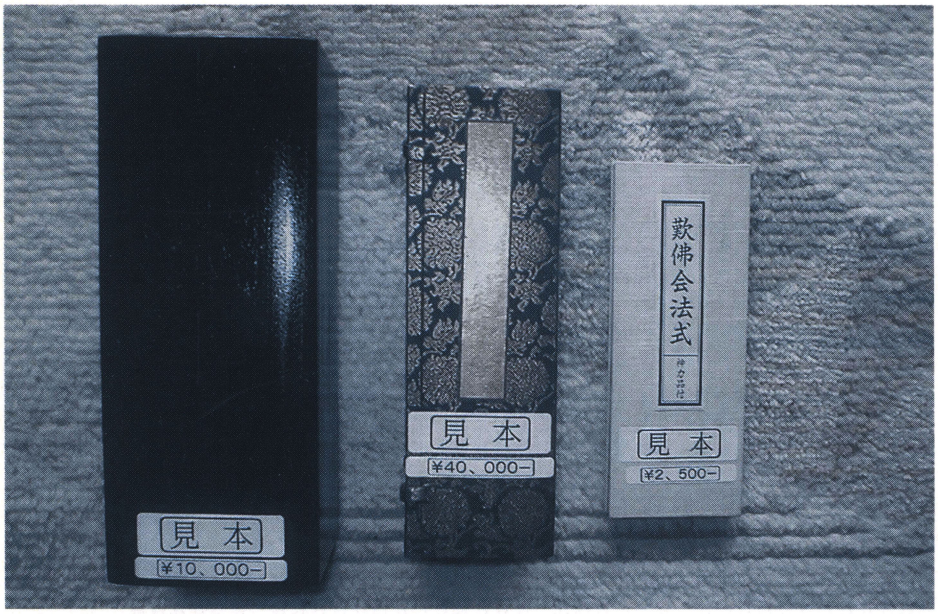
〈曹岐青出版物一覧〉

①鳴らし物・進退がよく解る「歎佛会法式」経本　（2、500円／冊）

②ルビ付き「大般若理趣分経」　（40、000円／冊）

③理趣分経用「桐箱」　（10、000円／冊）

＊いずれの品も送料は無料（曹岐青で負担）となっております。



お問い合せ先

宛　先：曹岐青出版部
住　所：〒506−2133
岐阜県大野郡丹生川村北方　正宗寺内
TEL／FAX：0577−78−1080

エコクッキング

捨てればゴミ　活かせば薬膳

かぶの葉のしらす和え

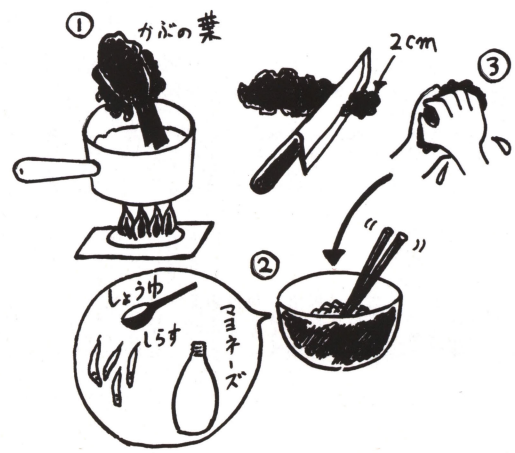
カルシウムなど、「骨太栄養素」がせいぞろい

ナズナの名前で春の七草の１つに数えられるかぶは、昔から日本人に親しまれてきた野菜。京都・千枚漬けの大ぶりな聖護院かぶ、会津のほんのりと甘い赤かぶ、信州の漬物・野沢菜―いずれもかぶの仲間です。

よく使われる白い根の部分にも、カリウムなどミネラルやビタミン類が含まれていますが、忘れられがちな緑の葉の部分の方が、より充実した栄養素が詰まっています。

かぶの葉100ｇには、牛乳一本（200cc）分よりも多い230mgものカルシウムが含まれています。鉄分も1.9mgで、卵1.5個分とほぼ同じ。ほかにもカロチン、ビタミンC、ビタミンKも豊富で、マグネシウム、亜鉛、銅などの微量ミネラルも含んでいます。

かぶの葉に含まれる、これらのミネラルやビタミンの共通項は…、実は、丈夫な骨を作るためには欠かせない栄養素ばかりなのです。これに、体内でのカルシウムの「運び屋」ビタミンDと、骨を強くする（骨にカルシウムが付着しやすくする）働きがあるたんぱく質を加えることで、「骨太料理」が簡単にできます。今回は、ビタミンDとたんぱく質を含むしらす干し（またはじゃこ）を組み合わせた「かぶのしらす和え」を紹介します。



◆材　料◆

かぶの葉／３～４株分、しらす（またはじゃこ）／大さじ２、しょうゆ／小さじ１、マヨネーズ／少々

◆作り方◆

①　かぶの葉はさっとゆで、約２cmに切る。

②　ボールに、しょうゆ、しらす（またはじゃこ）、マヨネーズを入れて混ぜる。

③　①のかぶの葉の水分を絞ってから、②に加えて和える。

〈管理栄養士・小池すみこ〉

賛助会員御芳名

平成13年8月29日～11月30日

東京都
31 常徳院様
73 龍泉寺様
79 保善寺様
87 観音庵様
96 海雲寺様
166 慈照院様
175 泰宗寺様
179 大林院様
210 法清寺様
226 慈光院様
252 観蔵院様
312 光明寺様
313 聞修院様
317 竜雲寺様
343 向雲寺様
356 宝蔵寺様
371 円明寺様
378 観音寺様
395 道了寺様
406 全昌院様
〃 東隆真様

神奈川県第一
209 浄泉院様
264 慶林寺様
323 高長寺様
334 潮音寺様
359 滝門寺様

神奈川県第二
1 本覚寺様
2 西有寺様
7 竜珠院様
14 伝心寺様
16 正観寺様
31 貴雲寺様
98 海宝院様
100 大善寺様
119 泉秋寺様
120 善谷寺様
168 源養寺様
380 法雲寺様

埼玉県第一
49 昌福寺様
92 浄山寺様
107 松源寺様
123 正明寺様
133 清鏡寺様
181 長光寺様
390 龍渕寺様
434 安養院様

埼玉県第二
228 法心寺様
238 松林寺様
243 永源寺様
316 円正寺様
325 金沢寺様
490 大渕寺様
572 常楽寺様

群馬県
3 龍海院様
42 大蒼院様
56 玉泉院様
68 慈願寺様
85 東善寺様
90 萬松寺様
111 雲林寺様
120 竜華院様
194 善宗寺様
240 善長寺様
311 泉通寺様
315 利済寺様
338 竜松寺様
348 徳昌寺様

栃木県
2 桂林寺様
30 永林寺様
46 龍昌寺様
50 天翁院様
51 豊栖院様
59 安昌寺様
69 慶翁寺様
71 明林寺様
92 泉渓寺様
94 天性寺様
125 長興寺様

茨城県
6 蒼泉寺様
13 竜泉院様
39 常安寺様
107 桂昌寺様
116 祥雲寺様
166 東光寺様

千葉県
2 宗胤寺様
7 満蔵寺様
8 重俊院様
12 高根寺様
29 慶林寺様
95 宝応寺様
96 長寿院様
97 玉造寺様
101 医王院様
117 大通寺様
121 宝林寺様
129 報恩寺様
142 竜源寺様
155 東漸寺様
162 長昌寺様
163 光福寺様
188 大慈寺様
209 天性院様
320 瑞岩寺様
357 永福寺様

山梨県
125 大光院様
162 法久寺様
197 光岳寺様
245 青原寺様
299 長応寺様
304 威徳寺様
339 南明寺様
559 龍福寺様

静岡県第一
7 元長寺様
95 久応院様
126 一乗寺様
136 真如寺様
138 竜興寺様
162 定輪寺様
185 光明院様
391 十輪寺様
393 弘徳院様
424 耕春院様
459 洞雲寺様
552 貞善院様
577 長久寺様

静岡県第二
240 医王寺様
291 明徳寺様
304 永徳寺様
319 源光院様
329 永昌寺様
331 大江院様

静岡県第三
608 養勝寺様
644 利生寺様
685 竜雲寺様
759 興禅寺様
767 大雲院様
791 春林院様
831 正林寺様
851 閑田院様
852 東泉寺様
920 蓮覚寺様
1308 梅林院様
1318 成道寺様

静岡県第四
1043 西泉寺様
1097 大聖寺様
1104 見海院様

愛知県第一
5 功徳院様
7 全香寺様
17 光明院様
34 伝昌寺様
51 梅屋寺様
120 宝珠院様
138 長翁寺様
149 正覚寺様
161 宝珠寺様
163 清安寺様
303 恵日寺様
336 弥勒寺様
338 長養院様
358 玉泉寺様
622 竜田院様
629 神竜寺様
635 永沢寺様
644 増福寺様
1071 観音寺様
1103 観音寺様
1256 大泉寺様

愛知県第二
684 花井寺様
815 西光寺様
858 大円寺様
927 春興院様

愛知県第三
428 宝珠院様
438 吉祥寺様
512 清涼寺様
523 本光寺様
525 極楽寺様

岐阜県
1 智勝院様
28 観音寺様
51 天徳寺様
57 普門院様
63 長泉寺様
122 大竜寺様
133 福寿寺様
167 正宗寺様
176 善応寺様
178 久昌寺様
180 慈雲寺様
188 洞泉寺様
194 慈眼寺様
219 勝林寺様
238 智照院様

三重県第一
36 法安寺様
61 観音寺様
67 十念寺様
93 徳蓮院様
94 極楽寺様
97 西明寺様
159 常足庵様
181 観音寺様
183 光徳寺様
188 広泰寺様
203 等観寺様
207 海眼院様
269 大蓮寺様

三重県第二
392 大義院様

滋賀県
25 宗清寺様

京都府
16 地蔵院様
46 栄春寺様
67 苗秀寺様
73 春現寺様
173 東寓寺様
196 西方寺様
223 洞玄寺様
231 正眼寺様
236 善光寺様
354 蓮華寺様
367 福昌寺様

大阪府
19 齢延寺様
22 観音寺様
29 円通院様
40 伊勢寺様
61 大広寺様
65 西福寺様
94 黄梅寺様
97 菅相寺様
107 実相院様
121 禅徳寺様
127 来迎寺様

奈良県
25 宝泉寺様
26 蔵心寺様
27 悟真寺様

和歌山県
14 西福寺様
35 高松寺様

兵庫県第一
26 荒村寺様
30 岡本寺様
302 月照寺様
314 横蔵寺様
324 願成寺様
325 清久寺様
367 慶徳寺様
369 大竜寺様
374 成国寺様
451 頼光寺様

兵庫県第二
135 弘誓寺様
141 松隣寺様
146 大膳寺様
154 鷲住寺様
194 万松寺様
217 長福寺様
231 光雲寺様

岡山県
1 円通寺様
4 威徳寺様
14 三光寺様
32 金竜寺様
70 上合寺様
79 観音寺様
87 桂巌寺様
101 雲泉寺様
143 西来寺様
145 雲居寺様
157 金蔵寺様

広島県
3 養徳院様
23 阿弥陀寺様
76 長福寺様
120 宝泉寺様
173 円福寺様
186 法林寺様

山口県
1 禅昌寺様
25 弘済寺様
26 正福寺様
36 正福寺様
68 法光寺様
186 桂昌寺様
236 飯倉寺様
243 覚天寺様
261 常安寺様

鳥取県
10 祥雲寺様
12 吉祥寺様
23 貞信寺様
48 譲伝寺様
67 洞光寺様
72 谷昌寺様
78 山名寺様
168 聖福寺様

島根県第一
209 円通寺様
231 岩滝寺様
253 西光寺様

島根県第二
1 松源寺様
8 祐福寺様
17 円光寺様
25 安養寺様
32 宗渕寺様
40 増福寺様
50 妙岩寺様
59 清光院様
60 桐岳寺様
63 竜覚寺様
69 竜雲寺様
75 清安寺様
77 本覚寺様
86 北禅寺様
99 禅慶院様
101 円光寺様
134 極楽寺様
141 本願寺様
181 善福寺様
203 玉雲寺様
206 十満寺様

高知県
4 吉祥寺様

愛媛県
1 高昌寺様
36 香林寺様
39 宗光寺様
79 成福寺様
95 西岸寺様
114 東栄寺様
120 極楽寺様
129 晴光院様
131 久昌寺様
141 瑞応寺様
155 禅興寺様
159 宝珠寺様

福岡県
15 竜国寺様
62 禅覚寺様
67 建昌寺様
110 松山寺様
151 大円寺様
158 報恩寺様
162 紹運寺様
170 広厳寺様
171 大東寺様

大分県
8 豊音寺様
147 有近寺様
175 羅漢寺様

長崎県第一
32 正応寺様
44 西蓮寺様
52 青眼寺様
57 長泉寺様
63 延命寺様
75 瑞雲寺様

長崎県第二
108 永泉寺様
136 宝光寺様

佐賀県
18 久善院様
76 長興寺様
118 養寿寺様
128 円通寺様
138 弥福寺様
235 永林寺様

熊本県第一
10 天福寺様
45 長徳寺様
48 神照寺様
50 雲泉寺様
59 円通寺様

熊本県第二
78 地蔵院様
79 向陽寺様
105 芳證寺様

宮崎県
22 大雄寺様
27 法明寺様
32 観音寺様
34 水月寺様
35 法泉寺様
54 善栖寺様

鹿児島県
1 福昌寺様

長野県第一
5 寛松寺様
43 洞仙寺様
99 天照寺様
107 観音寺様
108 源真寺様
119 龍洞院様
123 真蔵寺様
139 梅翁院様
154 清涼院様
166 普賢寺様
207 隆谷寺様
217 浄清寺様
237 昌福寺様
279 大徳寺様
307 信永院様
311 竜雲寺様
314 桃源院様
359 龍光院様

長野県第二
389 宗福寺様
400 長久寺様
405 水月院様
420 金松寺様
461 養泰寺様
484 円応院様
508 真浄寺様
526 雞足院様
529 雲彩寺様

福井県
101 永建寺様
103 洲江院様
134 臥竜院様
143 浄林寺様
145 瑞林寺様
179 法雲寺様
218 常福寺様
271 長継寺様

石川県
50 全昌寺様

富山県
25 常泉寺様
26 徳城寺様
114 光臺寺様
205 慈眼寺様

新潟県第一
311 大慈寺様
312 万福寺様
318 泉上寺様
338 正応寺様
343 慈眼寺様
344 玄徳寺様
355 宗慶寺様
460 竜谷院様
462 正眼寺様
466 真浄寺様

新潟県第二
682 本田寺様
692 種徳院様
708 湖鏡庵様

新潟県第三
514 長命寺様
535 普光寺様
553 安住寺様
571 転輪寺様
637 洞泉寺様
677 昌禅寺様

新潟県第四
1 龍雲寺様
131 嶺寒寺様
196 香伝寺様
199 西光寺様
212 太総寺様
219 東牧寺様
220 長谷寺様
283 耕太寺様
738 不動寺様
814 地蔵院様

福島県
7 清水寺様
10 佛母寺様
16 東禅寺様
17 慈徳寺様
23 東源寺様
24 盛林寺様
25 安洞院様
29 長勝寺様
46 竜伝寺様
72 泉秀寺様
97 三乗院様
119 長泉寺様
146 保福寺様
175 天沢寺様
178 広度寺様
180 蓮蔵寺様
186 雲林寺様
187 観照寺様
188 頣宣寺様
214 満円寺様
231 円通寺様
264 長福寺様
296 常春院様
307 保福寺様
318 安穏寺様
338 西光寺様
343 西勝寺様
345 大用寺様
374 常徳寺様
401 常楽寺様
406 浄泉寺様
436 長福寺様
446 天宗寺様

宮城県
14 松音寺様
55 実相寺様
57 満興寺様
73 円満寺様
177 珠光寺様
205 竜川寺様
237 圓通院様
247 東光寺様
275 観音寺様
278 津竜院様
282 耕徳院様
301 洞源院様
308 洞仙寺様
329 浄音寺様
339 天雄寺様
348 満照寺様
364 竜源寺様
371 頼光寺様
390 西光寺様
392 金秀寺様
420 玖光院様
460 黄金寺様
466 喜泉院様

岩手県
2 祇陀寺様
6 永泉寺様
7 永祥院様
52 福蔵寺様
67 永昌寺様
70 桂林寺様
71 円通寺様
74 瑞興寺様
77 歓喜寺様
81 円城寺様
105 円通寺様
109 万松寺様
119 金性寺様
124 西光寺様
125 明蔵寺様
131 花林院様
158 願成寺様
171 光西寺様
177 要津院様
195 安養寺様
219 遠応寺様
232 龍昌寺様
242 大慈寺様
252 柳玄寺様
256 曹源寺様
269 竜泉寺様
270 海蔵寺様
288 長福寺様

青森県
27 蘭庭院様
44 高沢寺様
45 全竜寺様
67 福昌寺様
69 常現寺様
84 涼雲院様
94 洞円寺様
101 聖福寺様
108 常光寺様
110 長昌寺様
119 大安寺様
127 東伝寺様
176 海昌寺様
185 観音寺様

山形県第一
5 光禅寺様
76 正法寺様
81 金勝寺様
92 竜泰寺様
104 長松院様
114 永林寺様
148 定林寺様
182 養源寺様
208 普門寺様
214 長泉寺様
224 長泉寺様
239 東光寺様
242 定泉寺様

山形県第二
249 瑞雲院様
368 正福寺様
372 昌傳庵様
746 平等寺様

山形県第三
433 祐性院様
470 蓮台院様
520 永寂寺様
554 徳昌寺様
565 田種院様
591 牧童院様
711 種雲院様
718 長渕寺様
741 雲竜寺様

秋田県
3 蒼竜寺様
4 宝袋院様
18 乗福寺様
36 自性院様
47 東伝寺様
68 長泉寺様
96 円通寺様
114 光禅寺様
128 耕伝寺様
149 広沢寺様
160 雲岩寺様
180 竜泉寺様
181 黄龍寺様
185 永蔵寺様
186 永泉寺様
199 蔵伝寺様
207 大川寺様
212 霊仙寺様
231 天寧寺様
235 竜巌寺様
261 見性寺様
266 松源院様
284 善徳寺様
304 玉林寺様
311 全応寺様
312 長興寺様
321 鏡得寺様
322 大円寺様
328 隆昌寺様
329 長泉寺様
338 円通寺様
344 石竜寺様
346 曹源院様

北海道第一
19 道了寺様
29 法幢寺様
45 延命寺様
75 禅源寺様
78 正林寺様
90 含笑寺様
96 観音寺様
99 全久寺様
253 大慈寺様
257 高臺寺様
285 正光寺様
354 昭竜寺様
473 七宝寺様
484 禅福寺様
488 清泉寺様

北海道第二
120 大雄寺様
181 永祥寺様
386 透禅寺様
427 禅法寺様
445 竜沢寺様
454 大禅寺様
507 大真寺様

北海道第三
199 祥雲寺様
215 法光寺様
483 慈福寺様

御協力誠にありがとうございました。

あまり力になれないかも知れませんが、陰ながら応援させて頂きます。米国同時多発テロに対する全曹青のメッセージは静かに評価されています。私も法話等に引用させて頂いています。乞うご活躍。

（大本山總持寺後堂／野田大燈老師）

各地域の青年僧侶を顔写真つきメッセージ、趣味などを取り上げて紹介してほしいです。友好を深める事にもなりますので。自坊はこのようにしているなど、寺院の紹介などを取り上げてほしい。（兵庫県／横野太護様）

毎回「そうせい」を楽しみにしています。大変読み応えがあり勉強になります。115号掲載の長崎曹青の活動に敬意を表します。「継続は力なり」と思いました。

（広島県／垣井良孝様）

レイアウト、話材等よりグレードアップしたように思います。新しい切り口で仲良しクラブ型ではない機関誌にしてください。

（岐阜県／原田太石様）

尾崎正善師の「宗門儀礼を現代に如何に生かすか」には共感いたします。「宗門の多くの儀礼の起源やその変遷過程を知る事は現代僧侶にとって必須の事」とあり、その具体例として、1．施食会の陀羅尼の一々の意味やその増減の過程。2．葬祭回向文の変遷の理由。3．各種講式の意味付けなどはしっかりと理解したいものと考えております。そこで以上のような事に関する既刊の資料の情報を「そうせい」紙面上で紹介してくだされば幸甚に存じます。

（新潟県／野田尚道様）

最近の「そうせい」は内容も充実してすばらしいと思います。

岡山県では世代名鑑を発行しています。PRしてほしいと思いますよろしく

（岡山県／柴口成浩様）

貴重な御意見御感想をお寄せいただき、誠にありがとうございました。今後の紙面編集の参考とさせていただきます。

遠山無限プレゼント

当欄では、皆様のお便りをお待ちしております。ご応募してくださった方には抽選で20名様に曹岐青出版部刊『鳴らし物・進退がよく解る「歎仏会法式」経本』をプレゼントさせて頂きます。また、掲載させて頂いた方の中から抽選で3名様に前回に引き続きご好評を賜りました研友企画出版刊『ネコはどうしてわがままか』を加えてプレゼントさせて頂きます。宛先は〒699-0624 島根県簸川郡斐川町上直江199 妙相寺内全曹青広報委員会事務局「そうせい」読者プレゼント係へ。郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・電子メールアドレス（お持ちなら）をお書き添え下さい。尚、プレゼント当選者の発表は発送をもって代えさせて頂きますのでご了承下さい。

「ネコはどうしてわがままか」（研友企画出版 提供）

ベストセラー「利己的な遺伝子」の訳者、日高敏隆先生の最新刊です。

「鳴らし物進退がよく分かる歎仏会法式経本」（曹岐青出版 提供）

神力品の経本としても利用できる平易で便利な経本です。

午年です。中国の故事「人間萬事塞翁が馬」によれば、翁は、大事にしている馬のもたらす禍福に騒ぎたてることなく、平常心のまま超然としていました。私たちも、この一年に生起する様々な事件、事象によってもたらされる禍福に狼狽えず常に本質を捉える姿勢を養いたいものです。

この地球では、あらゆる可能性の発見を求めるという「時代」は、終わろうとしています。私たち衆生は、膨大な時間の海の中で、あらゆる局面の体験と探究を繰り返してきましたが、今世紀、大規模な転換期に入りました。時代は既に「回復」ではなく「再生」の段階を迎えようとしているのです。個としての覚醒に励み、仏祖の行履を忠実に生きようとするもの、自らの罪を知ろうとするもの、利他の生き方を望むものが、次時代のステージに「再生」していく。自らを「再生」できるものは「しなやかさ」です。「しなやか」は、元来「死なやか」であり「死」によってエネルギーを蓄え、弾力性をもった生き方に転換すること。

宗門は、五十年に一度の大遠忌を迎え、全曹青は三十年の節目を控えています。様々な節目に遇う全曹青会員諸師と共々に「しなやかに」生きることを提案します。それが、「再生」へのステップであり青年会組織としてもまさに自己発見から自己達成へのチャレンジングとなるでしょう。

編集室敬白

「人間は努力をする限り、迷うものだ。」というドイツの哲人の言葉がある。優れた箴言の多くがそうであるようにこの言葉も「人間は迷いがある限り、努力するものだ。」と逆に言い換えることができる。我が編集部も、「迷い」を燃料に、完全燃焼、そして燃焼効率を日々追求している。まるでT自動車かH技研かといった感じであるが、本編集部はあくまでも手作りであり、現に謝罪文なども手書きで出したことがある。燃焼効率の悪さは他の追従を許さないところである。しかし、先の号あたりから「励ましのお言葉」という効率のよい燃料を頂戴している。「勝利の方程式」（115号『編集室敬白』参照）はまだ解けずにいるが、新たな燃料を手に編集部は完全燃焼を目指していく。さて、今号から新しく藤田一照師によるアメリカに於ける曹洞宗の展開を掲載いたします。ご期待ください。

◆お詫びと訂正

前号（115号）12ページ～13ページ掲載の「現代と宗教」欄において、井上順孝教授のプロフィールが謝って表記されていました。正しいプロフィールは、氏名　井上順孝（いのうえ　のぶたか）昭和23（1948）年生　国学院大学日本文化研究所教授、博士（宗教学）

専門分野　宗教社会学

略歴

1971年　東京大学文学部宗教学宗教史学専修課程卒業

1974年　東京大学文学部助手

1992年　國學院大學日本文化研究所教授、現在に至る。

主な著書

『図解雑学　宗教』ナツメ社、2001年

『若者と現代宗教』ちくま新書、1999年です。

また、22ページの尾崎正善師のプロフィールで徳善寺住職とありましたが副住職の誤りです。

お詫びして、訂正いたします。

愛媛県曹洞宗青年会

愛曹青基本理念：相互信頼　協力推進　日々向上
モットー：「能力より意欲」、「何ごとも実践」

CLUB REPORT 青年会モザイク

DATA

発　足	昭和56年
会　長	山本　悟由
副会長	仙井　恵久
	本土　一真
会　計	能仁　賢宗
事務局	星野　隆信
会員20名	

愛媛県曹洞宗青年会は会長の山本悟由師を中心に総勢二十名で様々な活動を行っております。がしかし、四国管内の御寺院様は「愛媛の曹青会は何の活動もしとらん。ときどき道後で飲んどるだけじゃ！」と御立腹の方も多いようです。

さにあらず！　しっかり活動しております。

会員一同、次期宗門の担い手として、「今、青年僧に何ができるか」という目的意識を常に持ち、日々精進、努力を続けています。年に約三回行われます法式研修で自己の研鑽を深め、「ありがとう！あなたの愛を、真心を」を合言葉に行っています歳末助け合い托鉢では人との出会い、ふれあいにより多くの学びがあり、青年僧として成長させて頂いております。

また、四国管内青年僧との協調、結束も忘れません。愛媛という小さな枠にとらわれるのではなく、四国曹洞宗青年会とも相互協力し、管区事業や「禅を聞く会」等の管区教化センター事業にも積極的に協賛してきました。平成十三年、全曹青主催の「禅文化学林」を愛媛今治の地で開催した折には、愛媛県内青年僧はもちろんのこと四国管内青年僧の一致団結した協力により大円成となりました。会員一同安堵の気持ちと共に達成する喜びを感じ、会員の志気は高まっています。

しかし、会員の平均年齢は決して若いとはいえず、青年僧らしく情熱と意欲を忘れる事なく、何事も実践していく行動力を持ち続けたいと願ってはおりますが、全国の単位曹青の活動に比べるとまだまだといえるでしょう。「何年間も顔ぶれが変わらない。」「いつも同じ事ばかりしてマンネリだ。」「愛媛に若い坊さんはおらんのか！」といろいろ御批判も頂き、ごもっともの部分も否めません。がしかし、これからの愛曹青に乞御期待。会長の山本師を筆頭に役職員一同「能力より意欲！」「何事も実践」をモットーとし会員一同が切磋琢磨し、共に成長していける愛曹青でありたいという気持ちでいっぱいです。

今年は、四国曹青会主催であの痛ましい事故でありました「えひめ丸遭難事故」の平和祈念法要をと考えています。会員にはえひめ丸で犠牲になられた先生方と同年齢の者もおり、高校生を子供に持つものもいます。したがって、このたびの事故を他人事と思えず、一重に供養と慰霊をしたいという気持ちと共に関係者の方々の心の癒し、メンタルケアーができればという純粋な気持ちから希望する法要です。地元であります宇和島市の泰平寺様を会場とし、追悼の供養と事故後の関係者の心の癒しができればと四国曹青会役職員一同、日夜討議、討論を続けている最中であります。

決してできず、浅学若輩者も多数いますが、基本理念に掲げております《相互信頼・協力推進・日々向上》を念頭におき、「青年僧だからできること」「青年僧にしかできないこと」を常に模索し続け、開拓者精神にあふれた心若き青年会でありたいと願っております。

●活動内容

法式研修・歳末助け合い托鉢・管区事業協賛・管区教化センター事業協賛・坐禅会・グリーンプラン活動

発行所　全国曹洞宗青年会　〒105-8544　東京都港区芝2-5-2　曹洞宗宗務庁内／発行責任者　池上　幸秀　編集責任者　河村　康秀／本誌編集部へのお問い合わせ先　〒063-0037　北海道札幌市西区西野7条9丁目7-1　養福寺内　☎（011）661-0611／全曹青ホームページ　http://www.sousei.gr.jp／印刷所　株式会社　中央デザイン／定価　百円

100% 古紙100%再生紙